

016

施設等における避難誘導をサポートする
行動支援システム「ボウサイコンパス」

取組主体

株式会社 Bit peeps

従業員数

想定災害

実施地域

2人

全般

兵庫県

- 不特定多数の顧客がいる施設等で災害が起こった際に、従業員が適切な避難誘導を行うことをサポートする行動支援システム「ボウサイコンパス」を開発。スマートフォンへのプッシュ通知で災害状況やとるべき行動が示され、慌てずに適切な行動をとることを促す。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

いざというときに落ち着いて適切な行動をとるためにスマートフォンアプリを適用

- 株式会社 Bit peeps（ビットピープス）は、施設等における避難誘導をサポートする行動支援システム「ボウサイコンパス」の提供を開始した。
- 同システムは、商業施設や宿泊施設、高齢者施設、医療施設等の不特定多数の利用者や患者等の顧客がいるような現場において、災害が起こった際に従業員が適切な避難誘導を行うことをサポートする。
- 各施設では、訓練等は実施しているものの実際の災害が起こった際にスタッフが慌てずに適切な行動をとることができるのが心配であること、マニュアルは紙の媒体であることが多くいざというときに手元にないこと、夜間の人手が手薄なときにも災害は起こってしまう可能性があること等が課題となっており、これらの課題を解決すべく、同社は同システムの開発に着手した。
- 同システムは、災害対応に必要な情報を自動でスマートフォンのアプリに配信する ICT 機器と、フレームワークとなるソフト、各施設における災害時の行動マニュアル（アクションカード）で構成される。また、アプリ機能には、音声読み出し、タスク管理・共有、画像による情報伝達、安否確認機能等を搭載している。多くの人が常に身に付けている可能性が高いスマートフォンで行動マニュアルを確認できるようにしたことで、紙のマニュアルを探す手間や時間を削減でき、従業員の落ち着いた避難指示や避難行動を促す。

災害時のスタッフに向けた行動マニュアル/支援ソリューション



「ボウサイコンパス」の開発経緯と利用効果

国土強靱化

- 主に火災及び水害の発生時における使用を想定しており、発生情報は外部のシステムや情報との連携により把握する。地理的な条件（川が近い等）や建物の構造は、予めカスタマイズしておき、火災の場合は火災受信機の受信内容から火災場所等を把握し、水害の場合は、気象情報や近隣河川の水位情報を気象庁や自治体から収集する。把握、収集された情報は、プッシュ通知で従業員のスマートフォンに表示される。
- アクションカードの内容は、既存のものを踏まえながら、施設の担当者や防災コンサルタントとともに作成する。



「ボウサイコンパス」
スマートフォンアプリの画面



「ボウサイコンパス」導入予定のホテルにおける
訓練の様子

2 現状の課題・今後の展開等

- 施設のマニュアルをブラッシュアップし、より有用な行動計画につなげていくことも重要であるため、様々な施設の災害マニュアルデータを収集、保管することも検討していく考えである。
- 現在、災害の状況に応じた情報伝達については、気象情報や既存の水位センサ等からデータを受領し、実施しているが、二級以下の河川等についてはデータを収集できない箇所が多く、それらを網羅することには未だ課題があるため、同社はそれらの課題を解決し、より社会への浸透を図りたい考えである。

3 周囲の声

- これまでもマニュアルを作り、避難訓練を実施してきたが、やるべきことを忘れてたり手順どおりできなかつたりして、その都度時間がかかってしまうという課題があった。スマートフォンで手順をその都度リマインドしてくれる同システムがあれば、落ち着いて手順を忘れることなく無駄のない動きや情報共有ができ、一人でも多くの人命救済ができると思う。経営者、経営幹部、現場スタッフ、お客様含め、みんなが安心して行動できる。（訓練を実施したホテルの担当者）

担当者の声

- 災害時は、冷静な判断が難しく、行すべき行動を忘れてしまう可能性も高いです。それでも施設の利用者や患者さんを誘導しないとはいけません。このボウサイコンパスは、皆さんの手元にあるスマートフォンに災害の状況が送られ、その状況に応じた行動内容がすぐに確認できます。きっと皆さんのお役に立てるシステムであると考えています。

問合せ先

株式会社 Bit peeps 法人番号：5140001114945
TEL：0798-20-7904 E-Mail：info@bitpeeps.co.jp

サイト URL

